

令和元年度 安芸高田市の「仕事目標」

広報あきたかた7月号に掲載した安芸高田市「仕事目標」の上半期進捗状況を次のとおり公表します。

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
総務部	情報管理課	ICT利活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ■災害情報をお太助フォンで見られるよう整備する ■ICTを活用した高齢者見守りシステムの実証実験を実施する ■オープンデータ*を公開する <p>*自治体が保有する公共データが、市民や企業等に利活用されやすいように機械判読に適した形で、二次利用可能なルールの下で公開されること、またそのように公開されたデータ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■お太助フォンで市ホームページの災害情報等を閲覧できるようシステム改修を行った（10月サービス開始） ■9月 高齢者見守りシステム実証実験が終了し、関係者にアンケートを実施した ■オープンデータの公開に向けて、先進自治体の運用方法の調査、本市の個人情報保護や情報公開条例等の整理等を実施中である
	危機管理課	避難行動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■自主防災組織の育成支援に取り組み、活動カバー率95%を目指す ■WEB版ハザードマップを公開する ■災害が起きたとき確実に避難できるよう、市全体で避難訓練を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ■6月 甲田町の12区振興会で自主防災組織が結成された（活動カバー率 92.1%） ■9月 WEB版ハザードマップをホームページで公表した ■市全体避難訓練の計画案を作成した
企画振興部	財政課	行政改革推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■第4次行政改革大綱と実施計画を策定する 	<ul style="list-style-type: none"> ■6月4日、5日 第4次大綱策定に向け、第3次実施計画の重点項目ヒアリングを実施した ■平成30年度実施計画実績、令和元年度改訂版を策定し、実施状況を確認した
	政策企画課	生活交通確保対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ■JR、路線バス、お太助ワゴン等の利便性の向上を目指す ■旧三江線鉄道資産の活用を検討する ■芸備線全線開通イベントを開催する 	<ul style="list-style-type: none"> ■6月18日 旧三江線代替交通の利用実態について乗り込み調査を実施した ■6月 JR芸備線の利用を促す横断幕を市内3駅に設置した ■旧三江線鉄道資産活用の検討委員会を設置した（9月19日第1回検討会開催） ■芸備線対策協議会及び沿線振興会とともに、10月23日の芸備線全線運行再開に向け、セレモニー等の開催を検討した

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
企画振興部	地方創生推進課	新社会人つながるプロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ■市内事業所等に就職した新社会人の歓迎式等を開催し、業種を超えた繋がりをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ■5月22日 歓迎式及び交流会を開催し、市内14事業所から新社会人49人が参加した ■6月 プロジェクト専用のLINEアカウントを作成し、新社会人に向けて情報発信を開始した ■7人の新社会人がボランティアとして、サンフレッチェ広島安芸高田市スポンサーゲームの運営に協力した ■商工会員と連携し、8月から新社会人対象のLINEクーポンの配信を開始した
		ふるさと納税推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■寄附額前年比25%増（8,600万円）を目指す ■ふるさと納税制度を活用し、寄附者に本市の魅力が最大限伝わるように返礼品を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ■4月～9月 寄附累計 寄附件数 7,264件 寄附額 8,320万円
市民部	総合窓口課	マイナンバーカードの適正交付	<ul style="list-style-type: none"> ■マイナンバーカード交付率16%を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ■マイナンバーカード交付率 14.72%（8月末現在） ■7月26～28日 マイナンバーカード交付臨時窓口を開設した
	人権多文化共生推進課	多文化共生推進事業（市民総ガイド構想）	<p>【多言語翻訳ツールの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「市民総ガイド構想」実現のため、多言語翻訳ツール（タブレット端末等）を導入し、市役所窓口をはじめ、多言語でのコミュニケーションを促進する <p>【外国人材活用支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■人員不足に困っている事業所で外国人材をスムーズに受け入れられる環境をつくる 	<p>【多言語翻訳ツールの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■無料翻訳アプリ搭載のタブレット端末を30台購入した ■高齢者大学で「やさしい日本語と翻訳ツール」講習を実施した（6大学中2大学で実施） ■職員へ翻訳アプリ活用研修を実施した <p>【外国人材活用支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市内企業や事業所を訪問し、現状調査を実施した
	環境生活課	結婚相談事業（婚活サポート事業）	<ul style="list-style-type: none"> ■結婚による定住人口の増加を目的とした、未婚の男女の出会いの場となるイベントを開催する ■未婚の男女の関心を高めるため、ホームページ等で広報を行うことで婚活サポート登録者を増やし、成婚7組を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ■8月25日 カップリング交流イベント開催（参加者23人） ■結婚コーディネーター19人（本年度当初14人から5人増） ■成婚者 4組（平成21年度事業開始から累計52組）

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
市民部	環境生活課	環境政策事業 (ごみ減量化対策事業)	<ul style="list-style-type: none"> ■きれいセンターへのごみの持込量を減らすため、効果的な集団資源回収やリサイクル活動の定着に向けた支援を行い、資源回収量900tを目指す ■市内の事業所等で、使用済み紙おむつ処理機の実証実験を実施する ■市内小中学校児童生徒に環境リサイクル講座を行い、子どもたちや学校、家庭にリサイクルの取り組みを波及させる 	<ul style="list-style-type: none"> ■資源物回収量 313t ■使用済み紙おむつ処理実証実験を市内の老人福祉施設で行うこととした ■市内全小学校9校の4年生に環境リサイクル講座を実施した
	子育て支援課	24時間保育 子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て世帯を経済的、精神的に支援できる環境を整え、定住の促進と出生率の向上を図る ■幼児教育無償化が本市へ及ぼす影響を調査、分析し、子育て支援施策を検討する ■令和2年度から令和6年度まで5年間の子育て支援事業の基本計画となる「第2期安芸高田市子ども・子育て支援事業計画」を策定する 	<p>【地域の子育て支援、保育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公立のみどりの森保育所、ふなさ保育園、くるはら保育園を保育所型認定こども園に移行し、「一時預かり」や「常時の園庭開放」を開始した ■公立から民間移管した甲田いづみこども園に「病児・病後児保育室」を併設した <p>【子育て支援施策の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■幼児教育の無償化を調査・分析し、本市独自に「3歳以上児給食費の無償化」方針を決定した <p>【安芸高田市子ども・子育て支援事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■第2期計画策定準備のため「安芸高田市子ども・子育て会議」での協議を開始した
福祉保健部	健康長寿課	母子保健事業の充実 (少子化対策)	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠から子育てまで、切れ目のない継続的な支援を行う ■産婦健康診査の受診率100%、赤ちゃん訪問の実施率100%を目標とし、子どもを産み育てやすい環境を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ■ハイリスク妊娠について点数化し、リスクの高い妊婦に個別支援を行った ■乳幼児健診や各種相談会、教室等を実施し、支援が必要なケースには他機関と連携し継続的な支援を行った ■産婦健康診査受診率 100% ■赤ちゃん訪問実施率 100%

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
福祉保健部	健康長寿課	生活支援員制度構築事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日々の見守りを通して高齢者の生活実態を把握し、「地域全体で高齢者を見守る体制」を市内全域に構築し、住み慣れた地域で安心して生活できる安芸高田市を目指す ■ 75歳以上高齢者の75%以上の実態把握を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 32地域振興会のうち、19地域振興会と18単位振興会・行政区で、日々の見守りを通して高齢者の生活実態を把握した ■ 75歳以上高齢者の実態把握 55.6%
	産業振興部	農林水産課	災害復旧事業 (農地災害復旧事業等)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年7月豪雨で被災した農地、農業用施設、林道施設、山腹崩壊の早期復旧に取り組む
森林環境整備事業			<ul style="list-style-type: none"> ■ 「新たな森林経営管理制度」を活用した森林整備に取り組む ■ 市内小中学校の子どもたちが山の大切さに関心を持てるよう、森林環境教育に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広島県、本市、安芸北森林組合合同の会議で、森林整備のモデルエリアを選定した ■ 市内小学校で森林環境教育に取り組んだ <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛郷小学校（1年生） ネイチャーゲーム* ・ 甲田小学校（6年生） 手ノコで間伐体験 <p>*人間の感覚を用いた色々な活動を通して、自然の不思議や仕組みを学んだり、豊かな自然の様々な表情を楽しめる体験</p>
商工観光課		地域での仕事づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市内の雇用促進、働く場を充実させる ■ 企業1社以上、サテライトオフィス5社以上を誘致する ■ 5社以上の起業を支援する ■ 向原駅にコワーキングスペースを整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複業人材支援による都市部からの雇用促進イベントを開催した ■ サテライトオフィスを2社誘致した ■ 3社の起業を支援した ■ コワーキングオフィスの整備に向け、プロポーザルの準備に着手した
		田んぼアート公園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和2年春開業予定の道の駅周辺観光スポット「田んぼアート公園」の整備に向け、造成工事に着手する ■ 田植え、稲刈り体験イベントを開催し、観光客数の増加や地域活性化に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公園用地の売買契約を締結し、7月に造成工事の設計業務を発注した ■ 5月12日 田植えイベントを実施した（参加者約350人） ■ 8月上旬 田んぼアート鑑賞会を実施した（参加者約500人） ■ 9月22日 稲刈り体験イベントは台風により中止となった

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
建設部	すぐやる課	災害復旧事業 (公共土木施設災害復旧事業)	■平成30年7月豪雨で被災した河川、道路、橋梁の早期復旧に取り組む	■6月ですべての工事の発注を完了した ■工事完了箇所 61箇所 ■工事完了率 49.1%
	住宅政策課	住宅政策の充実 (空き家活用促進)	■空き家情報バンクへの新規登録50件以上を目指す ■利用希望者へ空き家情報を提供し、賃貸及び売買成約50件以上を目指す	■空き家情報バンク新規登録 27戸(全65戸) ■空き家情報の提供により、27件の物件が契約成立した(移住定住者16組57人)
	建設課	東広島高田道路整備 促進事業	■東広島高田道路の整備を進める ■トンネル工事の下流対策を行うとともに、発生土を有効利用できるよう、土地の取得と埋め立てを実施する	■トンネル工事の下流対策工事を発注した ■一部を除き、発生土有効利用のための土地の取得を完了した
教育委員会	教育総務課	学校教育推進事業 (教育のICT利活用事業)	■市内小中学校へICT機器を整備する(中学校へ電子黒板21台、小中学校のパソコン教室へタブレット端末462台) ■タブレット端末へ市内統一した学習支援ソフトを導入する ■ICTを活用した効果的な授業を実践し、市内小中学校の児童生徒に県内トップレベルの学力の定着を目指す	■8月 各中学校普通教室へ電子黒板合計21台の整備が完了した ■8月 モデル校(向原小・向原中)にタブレット端末各31台を導入した ■学習支援ソフト導入のデモンストレーションを5回開催し、導入するソフトを決定した
	学校統合推進室	学校規模適正化推進事業	■令和2年4月の「高宮小学校」開校に向けて、地域や保護者との協議を進め、開校までに必要な改修工事を実施する	【高宮地区統合準備委員会】 ■統合準備委員会を5回開催し、校章デザインや校歌、通学方法など検討した 【船佐小学校の工事関係】 ■9月 普通教室床改修工事が完了した ■9月 既存校舎改修、遊具更新を開始した

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
教育委員会	学校教育課 生涯学習課	学校教育推進事業 (学力向上推進事業)	<p>【基礎学力の定着と学習意欲の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■安芸高田市総合学力調査で全国平均以上の児童生徒の割合85%を目指す ■学習補助員制度による非常勤職員を配置し市内小中学校児童生徒の学習を支援する ■「安芸高田市学力向上戦略」第2次戦略を策定する <p>【外国語（英語）教育の充実と強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学校教育推進アドバイザーや外国語指導助手（ALT）を配置し、外国語教育を充実、強化する ■「外国語活動が楽しみ」「もっと英語を勉強したい」と思う小学生90%、中学校3年生の英語検定3級以上の取得率45%を目指す <p>【地域未来塾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■参加した児童の家庭学習習慣の定着を目指す 	<p>【基礎学力の定着と学習意欲の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全国学力・学習状況調査の結果から課題を洗い出し、12月の安芸高田市総合学力調査に向けた取り組みを確認した ■学校の実態に対応し、学習補助員制度による非常勤職員を配置した（15人） ■市指導主事が終日学校訪問し、授業改善の指導・助言を行った（各校1回計15回） <p>【外国語（英語）教育の充実と強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学校教育推進アドバイザーが授業改善の指導・助言を行った（15回） ■外国語指導助手（ALT）4名を幼稚園、小学校、中学校に配置した <p>【地域未来塾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■5月から、市内全小学校で週2回、夏季休業中は各文化センターで3回実施し家庭学習習慣の定着を図った ■受講者数 111人
	学校教育課	コミュニティ・スクール (学校運営協議会) 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■コミュニティ・スクール（学校運営協議会）※を令和2年度の全市展開に向け準備する ■令和元年度に導入した八千代地区のコミュニティ・スクールの軌道に乗せる <p>※学校と保護者や地域のみなさんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み</p>	<p>【令和2年度全市展開に向けての準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■7月 市PTA連合会役員に制度の説明を行った ■8月から地域振興会役員に順次説明を行っている <p>【八千代地区のコミュニティ・スクール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■5月31日 学校運営協議会を立上げ、学校の経営方針の承認を得るとともに、3回の協議会を開催した

道の駅整備事業【企画振興部・産業振興部・建設部】

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
企画振興部	政策企画課	運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駅長の選任など運営体制を整える 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4月1日 道の駅の運営会社となる「株式会社道の駅あきたかた」を設立した ■ 6月 道の駅の名称を公募した ■ 7月 道の駅の名称を「道の駅 三矢の里あきたかた」に決定した
	地域営農課	農業振興	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産直市の販売計画に基づいた施設を整備する ■ 生産拡大の推進（野菜、果樹、加工品）、県内JAと連携した安定供給を図り、農業振興部門の生産販売計画を達成する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道の駅産直市の整備と並行して仮設店舗を整備し、開業した ■ アグリセミナーによる農業生産拡大、JA連携による品薄期の農産物確保を図った
産業振興部	商工観光課	観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光資源や特産品等の魅力発信拠点となる情報発信棟を整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本市観光プロモーション映像制作に着手した ■ （一社）安芸高田市観光協会及び安芸高田市商工会とともに、道の駅を基点とした市内周遊促進策の検討に着手した
建設部	建設課	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域振興施設、産直市施設、関連施設、道路休憩施設、トイレ施設を国土交通省と連携して整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市整備施設工事 進捗率 25%（地域振興施設、産直市施設、道路休憩施設） ■ 国整備施設工事 8月工事着手（トイレ施設、関連施設）